

今やだれもが認める最高・最強のキンテート! 美しき港町みなとみらいの夏を彩る、クールで熱いタンゴ

生命力溢れるリズム、情熱と哀愁溢れるパッションに、丁々発止のアンサンブル!

タンゴ界の旗手・三浦一馬と、神奈川フィルのソロ・コンサートマスターを務めながらソリストとしても活躍する

石田泰尚ら現代の音楽界を代表するアーティストたちとで編成されたキンテート(五重奏)。

公演の度に各地で完売札止めとなる彼らが、アンコールの声に応じて再び横浜みなとみらいホールに登場します!

彼らだからこそ実現される、モダン・ミュージックシーンの最先端を行くクールでホットなステージは、

タンゴ・ファンだけでなくありとあらゆる音楽愛好家を夢中にさせる無二の魅力に満ち溢れています。

タンゴ界の革命児・ピアノの代表作を中心に贈りする情熱のタンゴ、お楽しみに!

三浦一馬 (バンドネオン) Kazuma Miura, Bandoneon

10歳よりバンドネオンを始める。2006年別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオン界の最高峰ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで氏に師事。2008年国際ピアノ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝。2014年度出光音楽賞を受賞。2017年自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソリスト」を結成。2022年、三浦一馬五重奏団によるピアノライターの最後に相応しいアルバム「ピアノラスタンダード&ビヨンド」を日本コロムビアよりリリース。NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大河紀行音楽演奏を担当するなど若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。

石田泰尚 (ヴァイオリン) Yasunao Ishida, Violin

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業。同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年から神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスター(現在は首席ソロ・コンサートマスター)、2020年からは京都市交響楽団特別客演コンサートマスターも務める。その傍らさまざまなユニットで独特の輝きを見せるほか、幅広いレパートリーを誇り全国のオーケストラとの共演やリサイタルを行うなど、ソリストとしての顔も持ち、ミュンヘンでの「石田泰尚スペシャル熱狂の夜 第2章」、11月10日の日本武道館での石田組公演を完売させるなど、ヴァイオリニストとして前人未踏の公演に挑み続ける。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。2025年12月より川崎市市民文化大使に就任。2025年12月24日にニューアルバム「石田組2025・冬」をリリース。

大坪純平 (ギター) Junpei Ohtsubo, Guitar

1985年生まれ。広島県出身15歳よりエレキギターを始める。様々なフィールドでの活動を行う「変弦自在」のギタリスト。作曲家との共同作業などによる新作初演や委嘱作品多数。CD「ORGANIC MOTIONS」〜久留智之ギター作品集「風に聴く〜田中聡ギター作品集」をリリース。

第34回日本ギターコンクール最高位の他、第1回イーストエンド国際ギターコンクール、第45回クラシカルギターコンクールなど上位入賞。2019年3月にニューヨークで開催された「日米新しい音楽の展望シリーズ」に招聘され、日本とアメリカの日米作曲家の新作でリサイタルを行う。2019年より作曲活動を開始する。2022年第2回ポルトガル国際ギター作曲コンクール入選及び特別賞、楽譜はAVA Musical Editionsより出版される。2023年第4回バルセロナ国際ギター作曲コンクール「ミゲル・リョベド」3位入選。

近年はコンポーザーギタリストとして活動の幅を広げて、様々なギタリストに作品を演奏されている。エリザベト音楽大学卒業。ギターを長野文憲、徳武正和、佐藤紀雄の各氏に師事。趣味はロードバイク。

高橋洋太 (コントラバス) Yota Takahashi, Contrabass

桐朋学園大学卒業後、2006年に同研究科修了。同時に東京都交響楽団に入団。2005年青森市民文化顕彰受賞2007年東京・青森にてデビューリサイタルを開催し絶賛を博す。2016年、デビュー10周年のリサイタルでは「楽器に対して非常に慎重に、そして楽譜に対して謙虚に対峙する」(音楽の友2016年12月号)と評された。これまで、セイジ・オザワ松本フェスティバル、東京・春・音楽祭、霧島国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭はじめ、各地の音楽祭に度々出演している。

現在、東京都交響楽団奏者として活動するほか、チョン・ミョンフン指揮アジア・フィルハーモニー管弦楽団や各地のオーケストラに首席奏者として招かれている。また、バンドネオンの三浦一馬氏率いる五重奏団他、東京グランド・ソリスト、久石譲氏プロデュース、Future Orchestra-Classics、Music Futureなどにおいて、メンバー及びソリストとしての演奏を始め、雑誌「Tarzan」にて、音楽家としての身体のメンテナンスを紹介するなど、その活動は多岐に渡る。2022年3月にはコントラバスでは初録音となるピアノ作曲の「タンゴの歴史」を収録した自身初のアルバムをリリースする。

山田武彦 (ピアノ) Takehiko Yamada, Piano

東京藝術大学大学院作曲専攻修了。1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に入学、同クラスの7種類の卒業公開試験を、審査員の満場一致により首席で一等賞(プルミエ・プリ)を得て卒業。フランスの演奏団体である2e2m、Litineraire、Triton2等でソリストとして演奏し、現代音楽の紹介を務める。またフランス北部のランス市において大戦後50周年記念式典のために、ヘブライ語による委嘱作品を発表。帰国後はピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。最近では、三浦一馬キンテート、東京グランド・ソリスト(TGS)などユニークなコンサートの企画にも参加している。東京藝術大学招聘教授を経て現在同大学ソルフェージュ分野主任、洗足学園音楽大学客員教授。全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本ピアノ教育連盟会員。

山田武彦

【ピアノ】

高橋洋太

【コントラバス】

大坪純平

【ギター】

石田泰尚

【ヴァイオリン】

三浦一馬

【バンドネオン】

**Kazuma Miura
Quinteto**